

1 業務の履行状況

評価 : A · B · C · D

A:仕様書等の内容について高レベルで実施され、計画を上回る実績(効果)があり、優れた管理がなされている。
 B:概ね仕様書等の内容通り実施され、計画どおりの実績(効果)があり、適切な管理が行われている。
 C:一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
 D:仕様書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

	評価指標		実績	達成率	履行状況(3月末)	評価
	県の要求水準・仕様書	事業計画・目標値等				
NPOに関する県民理解の促進	ア 団体、活動、イベント、助成金等の情報収集及び情報発信	ホームページ、メルマガジン・アイーナインフォメーション発行(自主)及びチラシ配架により広く情報発信する。 目標:メルマガ発行 2回/月	2.5回/月	125.0%	届けられた情報のほか、他の市民活動支援センターHPや助成財団HPなどからの情報も積極的に収集し、HPやメルマガによる情報発信をしました。メルマガは、毎月2回発行し、必要に応じて臨時号で対応しました。また、県活7センターと図書館、指定管理のイベント情報を毎月1回20日に発行し情報発信しました。 現在、メルマガ配信登録数は、1,091人・団体。前年度実績と比較し7人・団体増加。 発信した情報数は、1,176件(前年1,255件)と前年度実績と比較して減少しました。そのうち、助成金情報については283件(前年度280件)でした。特に団体の基盤強化につながる情報を中心に発信しました。	A
	イ NPO法人の閲覧資料の整備	随時	-	-	県から提供あり次第、速やかに配架しました。	
	ウ 関連書籍の整備、貸出	計画的な図書購入及び配架コーナーの整理整頓	-	-	定期的に整理整頓に取り組みました。	
	エ 機関誌、資料等情報収集	随時	-	-	他支援センターや中間支援NPOの情報については、スタッフに回覧をして情報共有したのち、利用者の皆様に活用していただけるように速やかに配架して情報提供に努めました。	
	オ 団体の情報公開支援	随時	-	-	情報提供されたり、新聞等記事に取り上げられた登録団体やNPO法人の活動は、団体ファイルに綴って情報コーナーに配架し、情報発信に努めました。	
	カ 蔵書目録の情報提供	随時	-	-	目録更新の都度、速やかに情報提供に努めました。	
	キ ロッカー・レターケースの設置、運用・管理	随時	-	-	適切な管理に取り組みました。	
	①情報収集・情報提供業務 ク その他NPO・ボランティア活動の活性化に有益と思われる事項	県民プラザ等での情報発信イベント開催 目標:イベント開催 1回/年 学校での次世代育成出前講座の開催(自主)	5回/年	500.00%	情報発信イベント等 ・N活フェア(夏)(秋)を開催(主催) 開催期間(夏)7/24~8/8(前年8/1~8/16) 会場:団体活動室、ラウンジ 活動体験コーナー10団体(前年14団体)、活動紹介展示10団体(前年10団体)が参加し、団体の活動紹介を行いました。期間入場者4,585人、体験参加者192人(前年期間入場者3,759人、体験参加者408人) 開催期間(秋)11/6~11/29(前年11/7~11/30) 会場:団体活動室、ラウンジ 活動体験コーナー7団体(前年10団体)、活動紹介展示10団体(前年9団体)が参加し、団体の活動紹介を行いました。期間入場者7,109人、体験参加者148人(前年期間入場者7,139人、体験参加者577人) ・親子フェスティバルへのコーナー参加(協力) 開催日時 10/8 10時~16時 会場:団体活動室、ラウンジ他 参加児童を対象にスノードームとくるくるしゃぼん作成を通じて、NPOに対する理解促進を図りました。参加者256人(前年参加者208人) ・復興バザー(春)(秋)を開催(県活主催) 開催日時: 6/16、10/8 10時30分~15時30分 会場:県民プラザ、アイーナスタジオ他 アイーナ各施設スタッフから商品の提供を受けて販売、春の売上金は岩手県災害義援金募集委員会へ募金しました。125,474円 第1回からの募金累計額は1,912,331円。秋の売上金58,430円は西日本豪雨と北海道胆振東部地震の災害義援金として寄付しました。	

	評価指標		実績	達成率	履行状況(3月末)	評価	
	県の要求水準・仕様書	事業計画・目標値等					
NPOに関する県民理解の促進	②ホームページ等の運営管理	ア ホームページ、掲示板の運営管理	提供された情報等の迅速な発信 目標:HP更新 20日/月 HPアクセス数 7,000件/月 ブログアクセス数 10,000件/月 FBリーチ数 1,500件/月	26.4日/月 3,960/月 15,360/月 3,486/月	131.8% 56.6% 153.6% 232.4%	HP更新日数:26.4日/月(合計290日)(前年257日) HPアクセス数:3,960件/月(合計43,564件)(前年46,913件) ブログアクセス数:15,360件/月(合計168,957件)(前年194,217件) FBリーチ数:3,486件/月(合計38,348件)(前年56,997件) 平成26年度からSNSの活用を進め、HPのほかブログやFB、ツイッターを活用した情報発信を通じより多くの方にアクセスして頂ける状態を確保し、気軽に獲得しやすい情報提供ツールを活用した情報発信に努めました。	A
	③相談等業務	ア 協働、NPO、ボランティア等に関する相談対応	目標:相談数 30件/月	15.4件/月	51.4%	1件1件の相談に対してスタッフが充実した対応をしました。(合計155件)(前年260件) なんでも相談会をNPO法人シニアパワーいわてと協働で開催し、毎月1回開催しました。 開催日時:毎月第4土曜日 13:00~16:00 会場:N活センター (実施日 4/28 5/19 6/23 7/28 8/25 9/15 10/20 11/17 12/15 1/26 2/23)	B
		イ 活動希望者と受入れ団体、協働のコーディネート	コーディネート機能、体制の構築と県社協との連携	-	-	相談された案件については、県社協やボランティア受け入れ福祉施設等関係機関を紹介するなど適切な対応をしました。	
		ウ 出前相談会の実施	目標:出前相談会 9回/年 6月~2月の間に、中間支援NPOや市町村等と調整の上、開催	10回/年	111.1%	大船渡会場(6/29) 釜石会場(7/11) 花巻会場(12/4 2回午後・夜) 久慈会場(1/11) 奥州会場(1/19 2回午前・午後) 奥州会場(2/28) 二戸会場(3/24) 久慈会場(3/25) 相談件数計 17件 ※詳細は別紙 ※釜石会場(7/11開催)、花巻会場(12/4午後)の相談者は、その後継続相談となっています。	
	④運営委員会の設置運営	ア 第三者評価の実施	4回/年 日程調整の上、開催	4回/年	100%	(実施日 第1回7/30 第2回10/29 第3回1/18 第4回3/22)	B
	⑤災害時の対応	ア 災害時における災害ボランティアセンターとの連携	随時。定期的な情報交換を行う。	-	100%	情報誌編集会議の際に県社会福祉協議会ボランティア担当者と意見交換を行いました。また、災害関連の研修等に参加をしました。また、西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震などの災害を受け、HPに被災地支援・災害ボランティア募集情報(全社協)、災害義援金受付情報(日赤岩手県支部)をアップしました。 担当スタッフによる研修受講によりノウハウを学び、スキルアップに務めました。災害ボランティアセンター設置・運営に係る連携構築セミナー(7/4) 福祉避難所運営訓練の視察(鹿嶋市)(8/11) 床下浸水家屋の泥だし等基礎研修(8/25) 災害各種制度・法律勉強会(1/31) 災害ボランティア活動支援団体の相互理解・連携に係る研修会(2/18) 他NPO団体と連携し、「いわてNPO災害支援ネットワーク」(INDS)を設立し、災害時の迅速な支援体制を整備し、県社協や災害現地との情報共有につとめました。定例会出席(10/3) 西日本豪雨災害活動報告会(12/3) 定期総会(2/28)	B
	⑥各地域の中間支援組織等との連携	ア 中間支援ネットワーク会議の開催	3回以上/年 5月開催以降、日程調整の上、開催	3回/年	100%	定期総会・定例会 5/15 7/18 12/3	B
		(ア)NPO等交流会の開催	県内2回開催	2回/年	100%	地域づくり交流・連携フォーラムin久慈市(10/27)参加者54人 日本NPOセンター副代表大島氏の講演と久慈広域4市町村の活動団体の発表、及び県北広域の活動団体パネル展示、交流会。 地域づくり交流・連携フォーラムin奥州市(12/1)参加者41人 県域を越えた活動団体:マグ女 三津谷氏の講演と県南広域の団体の活動発表と活動パネル展示、交流会。	
(イ)人材育成のための研修会の開催		1回開催	1回/年	100%	中間支援NPOスタッフ研修(12/3) 参加者17人(9団体13人、行政職員)		

	評価指標		実績	達成率	履行状況(3月末)	評価	
	県の要求水準・仕様書	事業計画・目標値等					
	イ PINIによる地域の支援拠点施設の情報発信	県内のNPO支援拠点(中間支援NPO)の紹介をPINIに掲載する。4回/年	4回/年	100%	6月 大船渡市市民活動センター 10月 やませデザイン会議(久慈市) 12月 奥州市市民活動支援センター 3月 まちサポ栗石 取材活動を通じて、地域での活動の様子や関係性等を知る機会となり、団体間の繋がりを深めることができました。		
	ウ その他(自主)	いわてNPO中間支援ネットワークが事業運営を実施	-		勉強会「自治会支援と中間支援」「広域コミュニティ支援」(7/18) 中間支援NPOとしてのスキルアップを図るため勉強会を実施しました。 ソーシャルビジネス促進セミナーin二戸(7/21) 参加 地域資源を活用した活性化の取り組み事例として、ビジネス手法を用いた取り組みの講演と県内の事例発表を行いました。 「地域課題人材育成事業」(主催:岩手県) ソーシャルビジネスの手法をもちて地域課題を解決するための講座を県内3箇所で開催しました。 いわてソーシャルビジネススクールinみんなで一緒に学ぼう会(大船渡)(1/14・15) いわてソーシャルビジネスinカシオペア連邦(2/2) 10名受講 いわてソーシャルビジネススクールinはなまき(2/9) 12名受講 決算書作成講座(3/12) 5団体7名受講 シニアパワーいわて(構成員)が講師となり、講座を開催しました。	A	
情報誌	①NPO・ボランティア活動情報誌「PIN」の作成、配布	ア 作成・発行 イ 編集会議	4回/年 発行(6月、9月、12月、3月) 各5,000部	4回/年	100%	PIN発行 6月、10月、12月、発行行済 各5000部 3月25日発行予定 編集会議を開催し、特集記事、スケジュール調整等を行いました。	B
県活センター運営調整	①総合受付	ア 各センター等への案内	随時	-		県活センター(国際、環境学習、青少年、男女共同参画、子育て、高齢者の各センター)の訪問予約者等あらかじめ情報提供を頂くことでスムーズな案内をしました。	B
		イ 団体活動室等貸出業務及び利用状況取りまとめ	目標: 貸室利用者数 17,000人 貸室利用件数 1,800件 稼働率 95.0% 共有スペース利用者数 66,000人	19,341人 1,842件 94.1% 78,450人	113.8% 102.3% 99.1% 119.0%	H30新規登録団体数 26団体(合計346団体) 予約ルールに沿った適切な貸出業務、突発的な事案にも柔軟に対応しました。 また、利用票記入についての呼びかけを各テーブルに設置しており、ラウンジ等利用者から提出された利用票を合わせて団体活動室等利用票を翌日にデータ入力して状況管理に努めました。	
		ウ 利用者アンケートの実施	1回/年	1回/年	100%	1月実施 回収率 57.9%(196団体/338団体) アンケート結果については、県担当課とその対応等について協議し、回答を公表していくこととしています。センター設置から10年以上経過し、貸出備品等の修繕や更新の希望が増えてきたので、ひい続き県への要望を行ってまいります。	
		エ 利用者懇談会の開催	1回/年	1回/年	100%	開催日 2/20 7団体が参加 N活フェアの周知方法や各センターとの協力体制、館内表示などについて要望が寄せられました。	
	②運営調整会議の開催	ア 連絡調整会議の開催	1回/月 情報共有・発信などの協力体制構築	毎月1回		毎月第3木曜日に県民活動交流センター運営会議を開催し、アイーナ各部署との情報共有に努めました。	B
③共用施設・備品の貸出等	ア 施設、備品の貸出 イ 修繕の対応	随時	-		利用希望が重複した際には、県備品だけではなく、法人所有の備品で対応可能なものについて対応するなど利用者の利便性アップに努めました。 修繕及び更新については、必要に応じて県担当課と協議のうえ、対応していますが、アンケートへの要望も多いことから、より迅速な対応を心がけます。	B	

	評価指標		実績	達成率	履行状況(3月末)	評価
	県の要求水準・仕様書	事業計画・目標値等				
①市民活動活性化	ア NPO対象専門研修会の開催	入門講座 全6回 2回/月:5月~7月 出前講座 全7回 1回/月:8月~2月	38回 4回	633.3% 57.1%	入門講座 ※詳細は別紙 ・NPO基礎講座 20回(5/10 6/14 7/12 8/9 10/11 11/8 12/13 1/10 2/14 3/14) 月毎にテーマを設定して、5月~3月まで第2木曜日に昼と夜に開催しました。 ・県民活動交流センター活用講座の開催 4回(4/12 4/26 9/13 9/27) ・NPO運営講座 14回(9/14 10/19 11/16 12/21 1/18 2/15 3/15) 月毎にテーマを設定して、9月~3月まで昼と夜に開催しました。 出前講座 ※詳細は別紙 ・NPO出前講座 大船渡(6/29) 奥州(9/16) 久慈(1/11) 宮古(2/8) 中間支援NPO構成メンバーや行政からの要望に応じて実施しました。大船渡会場と奥州会場は、センタースタッフ向けの講座、久慈会場はNPO法人スタッフ向けの講座、宮古は、市役所協働担当職員向けの講座を実施しました。	A
	イ 行政における事務事業の協働化推進	随時	-	100%	月次報告の際に、必要に応じて県担当課との意見交換を行いました。	
	ウ 各種セミナー(協働推進、新しい公共)・協働のまちづくり出前講座の開催	3回/年:沿岸地域等	3回	100.0%	○地域で活用できる新し財源を知るセミナー(盛岡会場 4/23) 1回 (陸前高田会場 4/24) 1回 資金循環の仕組みについて全国の事例(コミュニティ財団、ふるさと納税、行政の多様化する資金支援、地方銀行とNPOの協働など)を紹介。みんなで考える仕組み~ワークショップをNPO法人いわて連携復興センター、公益財団法人地域創造基金さなぶり と共催して開催しました。 ○地域づくり交流・連携フォーラム「地域資源を活かしたまちづくり」(滝沢会場 2/23) 1回 地域課題の解決や地域資源を活かしたまちづくりを進めるうえで、他セクターとどのように協働していくか、弘前の取り組み事例や滝沢の若手の取り組みの紹介。滝沢市と協働して開催しました。	
	エ 先進事例情報発信	上記セミナー等に合わせて、事例発表会を実施	-	100%	地域づくり連携・交流フォーラム開催に合わせて、地域内の先進事例の活動事例発表及び開催館内の活動団体のパネル展示を行いました。 発表及び紹介事例 計 16事例	
	オ その他	NPO団体等とのイベント等の共催や後援、運営支援	-	100%	団体活動室で開催されたNPO法人未来図書館の「未来パスポート」事業について後援・共催し、社会人講師も派遣しました。(7/4・10 9/27 1/12)	
②NPO等ネットワークの構築・拡充	ア NPOフリートークの開催(自主)	4回/年	2回	50%	N活フェア(夏)登録団体交流茶話会の開催(7/28・29)(会場提供) 展示等参加団体を中心に、交流する場を提供し自由に活用してもらいました。 N活フェア(秋)登録団体連携・協働活動発表の開催(11/29)(発表4団体11人参加) 発表できる場の提供は好評であったが、広報不足から参加者が少なく、今後の実施に向けた課題が浮き彫りになりました。	C
④職員スキルアップ研修	ア NPO基礎研修(自主)		-	100%	講座講師等を担うスタッフ育成のため、経験の不足しているスタッフがNPO入門講座を受講し、実地研修を行いました。(2名)	B
	イ 専門研修受講(自主)		-	100%	・青少年育成セミナー1人受講(7/5) ・組織の共感力向上セミナー1人受講(9/7) ・男女共同参画サポーター養成講座1人受講(9/25) ・みちのくワークショップ1人受講(12/8) ・休眠預金にかかる勉強会1人受講(12/8) ・ゼロイチセミナー1人受講(12/10) ・居住支援事業研修会1人受講(12/17) スタッフが希望する研修に参加できるよう環境整備俾取り組みました。	

その他

		評価指標		実績	達成率	履行状況(3月末)	評価
		県の要求水準・仕様書	事業計画・目標値等				
③インターンシップ・ボランティアの受入れ	ア ボランティア登録 イ インターンシップの受入れ			-	100%	ア 新規登録者:7人 ボランティア体験者 延べ18人 (県社協の2018ボランティア体験inいわて ボランティア体験プログラムに応募 7人) イ 1人(岩大生) 実施期間:9/18~19	B
	④業務委託者と調整	月次報告書による業務遂行確認 (あわせて前金払申請書提出)	毎月	-	100%	毎月10日実施	B